

参考資料

*当資料は、2020年2月11日(現地時間)に米国・ジョージア州アトランタで発表した抄訳版です。必ずしも日本の状況を反映したものではないことをご了承ください。また、正式言語が英語であるため、原文の発表内容が優先されます。

2020年3月3日

報道関係各位

日本NCR株式会社

NCR コーポレーション、2019年第4四半期と年間の業績を発表

[米国ジョージア州アトランタ 2020年2月11日午後4時5分(米国東部時間) 発]

NCR コーポレーション (NYSE: NCR) は2019年12月31日までの3カ月(第4四半期)と12カ月間の業績を発表しました。第4四半期と年間、そして最新の重要点は以下の通りです。

- 第4四半期の総売上高は5%増の18.9億ドル(通貨の為替変動を考慮しない場合は6%増)
- 第4四半期のGAAPベース希釈後EPSは2.67ドル、非GAAPベース希釈後EPSは0.85ドル
- 2019年度の総売上高は8%増の69.2億ドル(通貨の為替変動を考慮しない場合は10%増)
- 2019年度のGAAPベース希釈後EPSは3.71ドル、非GAAPベース希釈後EPSは2.81ドル
- 2019年度の営業キャッシュフローは6.28億ドル。フリーキャッシュフローは2.75億ドル
- Zynstraの買収を完了。当社の次世代店舗アーキテクチャーをさらに強化

社長兼CEOのマイケル・ヘイフォード(Michael Hayford)は、次のように述べています。「第4四半期は好調な結果を記録し、2019年を締めくくることができました。NCRは売上および利益に関するコミットメントを着実に達成してきました。昨年、我々は戦略的成長プラットフォームによって再現性のある収益能力を強化しました。決済処理ソリューションの統合を開始し、各期において対前年比で売上を増大させてきました。強いモメンタムを維持したまま2020年に突入し、ソフトウェアおよびサービス主導型の企業へ、そして『as-a-Service』企業への移行を加速していきます。これまで以上にお客様に寄り添い、ダイナミックな市場へのさらなる迅速な対応を図り、NCR 全社で『NCR as-a-Service』を標榜し一丸となって取り組みます。これらのステップにより、NCR が持続可能で長期的な成長を遂げる企業へ前進していくことを私たちは信じています。お客様へ提供する価値を増やし、さらに店舗やレストラン、セルフサービスバンキングプラットフォームにおいて、お客様が他にはない体験を提供できるようお手伝いいたします。」

この度の発表では、当社は確かな非GAAP評価と同様の信頼できるパフォーマンス測定方法を用いており、また継続的な通貨ベースに基づく確かな指標も含んでいます。このパフォーマンス測定は年間のネットの年間契約価値(あるいは純ACV)であり、非GAAP評価はフリーキャッシュフローと「非GAAP」あるいは「継続通貨(通貨の為替変動を考慮しない)」を含んでいます。パフォーマンス指標、非GAAP指標ともに説明、記載されています。そして本プレスリリース全文の後半において「パフォーマンス指標および非GAAP財政

指標」のもと、最もダイレクトに相当する GAAP 指標に対しても一致しています。

本参考資料の全文は下記サイトをご覧ください。

<http://investor.ncr.com/news-releases/news-release-details/ncr-announces-fourth-quarter-and-full-year-2019-results>

■NCR コーポレーションについて

NCR コーポレーション(NYSE :NCR) は、金融、リテール、ホスピタリティ、テレコム&テクノロジー業界におけるソフトウェアおよびサービス主体のエンタープライズ・プロバイダーです。NCR は米国ジョージア州アトランタに本社を置き、約 34,000 人の社員とともにグローバルにビジネスを展開しています。
※NCR は NCR Corporation の米国および他の各国における商標または登録商標です。

◆本件に関するお問い合わせ先◆

日本 NCR 株式会社 役員室／ 広報担当 佐々木 智子

Tel. 03-6759-6000／Fax. 03-3553-1071

e-mail: pr.jp@ncr.com ホームページ <http://www.ncr.co.jp/>

日本 NCR 広報窓口 共同ピーアール株式会社 児玉 千尋、竹村 良子

Tel. 03-3571-5176 /Fax. 03-3571-5360 / e-mail: ncrpr@kyodo-pr.co.jp